

日時：平成 25 年 9 月 12 日 13:15～14:05

場所：東海大学代々木キャンパス 4 号館 5 階講堂

- 1) 理事長挨拶：残暑の中、多くの会員の方のご参集を受け感謝いたします。また、第 20 回学術大会も素晴らしい会となり、坂部年会長はじめスタッフの皆様にも感謝いたします。今回は、任期 3 年の役員の更新の時期にあたり、人事案件等多くの議題があります。審議のほど、よろしくお願いいたします。
1. 報告事項
 - 1) 事業報告（澤田）（配布資料）
 - 資料に基づき、澤田理事長より報告が行われ、承認された。
 - 2) 事務局報告（大槻）（スライド資料）
 - 資料に基づき、会員動向・会費納入状況ならびに学会 WEB 上のバナー広告の現況について報告された。バナー広告が 1 社減となったため、各会員に於かれては是非知己の企業等の勧誘をお願いしたい由、付言された。
 - 3) 学術大会報告（大槻）
 - i) 第 19 回（東京・慈恵医大）（スライド資料）
 - 資料に基づき、終了報告が行われ、承認された。参加者は、計 108 名。週末期間であったため企業の会員の参加が少なかったと考えられた。
 - ii) 第 20 回（東京・東海大）（坂部）
 - 既に開催されているが、本日より二日間、特に今回は 20 周年の記念シンポジウムもあり、活発な学会運営への参画をお願いしたい由、挨拶があった。
 - iii) 第 40 回日本毒性学会での日本免疫毒性学会との合同シンポジウム報告（スライド資料）
 - 本年 6 月に上野理事が主催された第 40 回日本毒性学会（幕張メッセ）にて日本免疫毒性学会との合同シンポジウムが開催された。3 日目朝のセッションであったが、延 300 人程度の聴衆を集め、盛会裏に終了したこと、さらに日本毒性学会で免疫毒性に関するセッションが最近取り上げられていなかったことで、好評を得たことが報告された。
 - 4) 委員会報告（大槻）（スライド資料）
 - i) 学術・編集委員会
 - ImmunoTox Letter は順調に 2 号の発刊を終えた。また、これまで依頼原稿ばかりであったが、2012 年後半に投稿希望が寄せられたため、それに合わせて投稿規定を作成し、その内容については当該委員会ならびに運営委員会の了承を得た後、WEB 上に公開した。
 - ii) 広報委員会
 - 事務局報告にあったようにバナー広告が 1 社減となったため、知己の企業のバナー広告への勧誘をお願いしたい。WEB ならびに mailing list については、会員への報告や連絡等に滞りが無い様に運営している。
 - iii) 試験法委員会
 - 明日の学術大会内での試験法ワークショップの開催ならびに JaCVAM での皮膚感作性試験代替法第三者委員会への対応について、資料に基づき報告された。
 - iv) 国際化委員会
 - 2005 年より、正式な契約は 2009 年より、米国 SOT の ISS (Immunotoxicology

Specialty Section) との国際交流を設けている。2013 年と 2014 年は日本免疫毒性学会から高野理事を派遣候補として企画を出していたが、2013 年については、ISS 側の担当者の準備不足、そして 2014 年については、ISS 内で採択されたが第 53 回 SOT 年次大会の委員会で非採択となった。提出したテーマが毒性学的より大気汚染などの環境学的に捉えられた可能性もある。

- 高野理事のテーマについては、一旦休止とし、2015 年の第 5 4 回大会 (San Diego) に向けては、環境研・平野先生を派遣者としての内諾の下に、準備を進めている。
- また、2 年続けて企画セッションが実施されなかったものの、本国際交流を継続したい旨を含めて、高野理事には 2014 年の SOT/ISS の会合で日本免疫毒性学会の意向を報告していただくことを考案していたが、大学の業務多忙のため日程が調整不可となった。そのため、日本免疫毒性学会からの会合への派遣者として ISS でも Board member を務められている中村委員長を推薦し、当初予定の旅費も適応したい由、報告の上、了承された。
- 2014 年の徳島への ISS からの派遣者については、今後姫野年会長からの年会全体あるいはシンポジウムのテーマの選定に合わせて、ISS サイドに適任者の選択を中村委員長を介して依頼する予定である。

5) 学会賞・奨励賞 (牧) (スライド資料)

- 事務局大槻より、学会賞の年齢制限撤廃の WEB でのアナウンスが遅れたため、今年度は旧来のままの応募になったことについて謝罪された。
- 牧選考小委員会委員長より、資料に基づいて選考過程が説明された。本年度の受賞者は、学会賞が自治医科大学医学部の香山不二雄先生、奨励賞が大阪大学大学院の吉岡

靖雄先生である由、報告された。本総会後に授賞式、そして 16:55 から授賞講演が予定されている。

2. 審議事項

1) 事業計画 (澤田) (配布資料)

- 資料に基づいて、2013 年 10 月から 2014 年 9 月までの事業計画案が提案された。審議の結果、承認された。

2) 会計 (吉田) (スライド資料)

- 会計全体として、過去に WEB 運営会社の急遽変更などの時期に、当該年度の予算が前年度の予算案から大幅に変化した事態を受け、以来、前年度 (会計年度は 4 月から翌年 3 月—事業年度と異なる) 決算、当該年度修正予算、次年度暫定予算として 3 年度分を、理事会ならびに総会 (兼評議員会) で報告してきたが、現状では、当該年度の予算については、大きな変更が生じることも少なくなり、平成 22 年度からの会費値上げによってある程度余裕が持てるようにもなった。よって、今回は当該年度予算についても総会 (兼評議員会) で報告するが、今後は、前年度決算と次年度予算の審議のみとしたい由、報告され、了承された。

i) 2012 年度決算

- 資料に基づき説明され、審議の結果、承認された。

ii) 2012 年度監査報告

- 小島監事より資料に沿って会計書類の監査結果が報告され、適切に処理されていた由、報告された。

iii) 2013 年度修正予算

- 資料に沿って、本年度の修正予算が報告された。微調整は、会員数を本年度当初の人数に変更した点である。また、資料では会議費を若干増額することが提案された。審議の結果、承認された。

iv) 2014 年度予算案

- 会議費について、今後の人選にもよるが、運営委員会の委員の中に遠方からの参加者が増える可能性が高いため、増額することが提案され、審議の結果、承認された。
- 3) 人事（澤田・大槻）（スライド資料）
- i) 名誉会員
 - 資料に基づき、吉田武美理事、牧栄二理事兩名を名誉会員に推薦することが提案され、承認された。本総会修了後、称号授与式が行われる。
 - ii) 新理事候補
 - 6月に評議員による理事の互選が行われ、その結果ならびに運営委員会による推薦によって19名の再任および齋藤嘉朗・平野靖史郎・森本泰夫の各先生の新任が提案され、承認された。
 - 新理事長については、澤田理事長ならびに運営委員会より吉田貴彦理事を推薦したい由、提案され、満場一致で承認された。
 - iii) 評議員
 - 新評議員候補として国立医薬品食品衛生研究所の小川久美子先生が推薦され、承認された。
 - 現在の評議員の中で、辞退あるいは年齢制限による任期終了者の一覧が提示された。
 - iv) 監事
 - 現在の高橋・小島両監事の再任が承認された。
 - v) 理事会オブザーバー
 - 理事会オブザーバーとして、大沢・牧両会
- 員が提案され、承認された。
 - vi) 委員会体制
 - 各種委員会委員については、業務年度が改まってから更新してもらうように提案され、了承された。
 - vii) 次々期（第22回）年会長
 - 澤田理事長より、第22回年会長として京都大学の高野理事が推薦され、承認された。
- 4) その他
- 事務局大槻より、これまで本学会の大会名を「学術大会」とし、その主催者を「年会長」と称していたが、両者を統一するために大会名を「学術年会」と変更することが提案され、承認された。これには会則・諸規定の文言の変更が伴うことについても承認された。
- 5) 姫野次期年会長より挨拶があり、多くの会員の参加を求める由、報告された。会期は、2014年9月11日、12日（木、金）。会場は徳島文理大学国際会議場である。また、第66回日本産業衛生学会アレルギー免疫毒性研究会との共同開催となる由、報告された。
- 6) 吉田新理事長・挨拶。
- 吉田新理事長より、就任のご挨拶が行われた。これまでの各理事長の努力で、20周年の節目を迎え、今後の更なる展開の方向付けに努め、免疫毒性学の広い分野への応用なども見据えて学会活動の活性化を、更に進めて行きたい由、宣言された。

以上
文責 事務局 大槻剛巳

理事長挨拶
報告事項
事業報告
事務局報告
会員動向
会費納入状況
WEB/バナー状況
学術大会報告
第19回 東京 (慈恵医大)
第20回 東京 (東海大)
第21回 徳島
第40回日本毒理性学会
学術年会合同セッション
委員会報告
学術・編集委員会
広報委員会
試験法委員会
国際化委員会
学会賞・奨励賞
その他
審議事項
事業計画
会計
2012年度決算
2012年度監査報告
2013年度修正予算
2014年度予算
人事
名譽会員
理事長
理事
評議員:新候補
監事・委員会・事務局
次々期 (第22回) 年会長
学術総会名称
その他
次期年会長挨拶
新理事長挨拶

日本免疫毒性学会 総会 兼 評議員会



理事長挨拶
報告事項
事業報告
事務局報告
会員動向
会費納入状況
WEB/バナー状況
学術大会報告
第19回 東京 (慈恵医大)
第20回 東京 (東海大)
第21回 徳島
第40回日本毒理性学会
学術年会合同セッション
委員会報告
学術・編集委員会
広報委員会
試験法委員会
国際化委員会
学会賞・奨励賞
その他
審議事項
事業計画
会計
2012年度決算
2012年度監査報告
2013年度修正予算
2014年度予算
人事
名譽会員
理事長
理事
評議員:新候補
監事・委員会・事務局
次々期 (第22回) 年会長
学術総会名称
その他
次期年会長挨拶
新理事長挨拶

審議事項
事業計画
会計
2012年度決算
2012年度監査報告
2014年度予算
人事
名譽会員
理事長
理事
評議員:新候補
監事・委員会・事務局
次々期 (第22回) 年会長
学術総会名称
その他
次期年会長挨拶
次々期年会長挨拶

はしめに

日本免疫毒性学会は、その前身である免疫毒性研究会としての活動期間を含め、20年目に入りました。その間、免疫学と毒理性学に係る異分野の方々の情報収集と意見交換の場として、小規模ではありますが、きわめて学際的な学会として機能して参りました。平成24年度も、本学会の特色を保ちつつ、新しい発展性のある研究動向もとり入れ、会員にとって寄り多い学会にすべく、従来からの国内活動はもとより、米国トキシコロジー学会免疫毒性分科会 (SOT-ISS) との交流も促進させ、国際的な活動の強化にも努めました。また、平成24年度も、学会の活性化や運営基盤の強化に努めました。

2. 平成24年度 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで) の事業報告
1) 平成24年度理事会及び総会・評議員会の開催
理事会:平成24年9月14日, 東京慈恵会医科大学 高木会館5階B会議室 (東京都)
総会・評議員会:平成24年9月15日, 東京慈恵会医科大学 大学1号館3階講堂 (東京都) (詳細は, http://www.immunotox.org/member/gijiroku20120915.pdfをご参照ください。)

2) 第19回日本免疫毒性学会学術大会の開催
第19回学術大会を, 平成24年9月15日, 16日, 東京慈恵会医科大学 大学1号館3階講堂 (東京都) にて, 「免疫毒性疾患の新しい様相」のテーマの下に開催しました [年会長: 柳澤裕之 (東京慈恵会医科大学)]。(プログラム等の詳細は, http://www.immunotox.org/index.html 「学術大会」のページで, 第19回学術大会をご参照ください。)

3) 第20回日本免疫毒性学会学術大会の開催準備
第20回学術大会 [平成25年9月12日, 13日, 東京都, 年会長: 坂部貢 (東海大学医学部)] の開催に向けて, 準備を行いました。

4) 第40回日本毒理性学会学術年会における本学会との合同シンポジウムの企画
第40回日本毒理性学会学術年会 (平成25年6月19日, 霧張メッセ国際会議場) における合同シンポジウム 「免疫毒性の最近の潮流」 (5演説) の企画を行いました。

5) ImmunoTox Letterの発行
下記の2号の刊行を行いました。
17巻第1号 (通巻33号, 平成24年6月号), 和文版14頁, 英文版3頁
17巻第2号 (通巻34号, 平成24年12月号), 和文版13頁, 英文版8頁

3. 平成24年度の事務局及び諸委員会の活動

以下の活動を行いました。

1) 事務局 (総務担当: 大槻理事)
・会員の異動, 会員数 (名譽・一般・学生・賛助各会員及び休会員) の推移と会費納入状況の把握, 自動退会 (会費未納退会) 等に関する事務

- ・名簿作成 (会計担当: 吉田理事)
・一般会計及び基金会計に関する事務
・予算書・決算書の作成
2) 運営委員会
2) 運営委員会
3) 学術・編集委員会 (委員長: 藤巻理事)
ImmunoTox Letter の刊行を上記のように2年一回行い, 学会ホームページに掲載し, メーリングリストにてその旨連絡しました。通巻24号より行われている英語版の追加も継続しました。本学会の学術的な充実を図るため, 第12回学術大会より実施されているアンケート調査の内容の強化を試み, 提出されたご意見の紹介及びそれに対する運営委員会の回答もImmunoTox Letter に掲載しました。また, 第20回学術年会の記念事業シンポジウムの企画を行いました。さらに, 学会賞等選考小委員会委員長 (下記参照) の指名を行い, 選考を依頼しました。
4) 広報委員会 (委員長: 大槻理事)
学会ホームページの定期的な更新を行い, 学術大会等に関する情報を追加しました。また, 英語サイトの充実にも努めました。バナー広告企業を新たに増やすための検討を行い, 各理事には積極的に勧誘を行ってもらうようにしました (平成24年3月現在4社)。
5) 試験法委員会 (委員長: 筒井理事)
本学会内での免疫毒性試験法に関する議論を深める目的で, 第19回学術大会ワークショップのテーマとして, 「In vitro immunotoxicology」を取り上げ, 5名の先生に代議士に関連する話題を発表して頂きました。
6) 国際化委員会 (委員長: 中村理事)
Dr. E. CorsiniとDr. H.van Loverenの第19回学術大会参加が, 第19回学術大会学術大会及び米国Society of Toxicology-Immunotoxicology Speciality Sectionからの補助によるなされました。
7) 学会賞等選考小委員会 (委員長: 牧理事)
平成25年度の学会賞及び奨励賞の推薦受付を, 平成24年12月25日 (開始) ~平成25年2月28日 (締切) の期間に行い, 推薦書に基づき, 4名の選考委員と共に授賞者の選考を行いました。選考の結果, 学会賞に香山不雄氏 (自治医科大学), 奨励賞に吉岡靖雄氏 (大阪大学) を選定しました。
4. 平成24年度 (平成24年4月1日~平成25年3月31日) 会計報告
1) 通常会計
別紙のとおり
2) 基金会計
別紙のとおり (個人的な寄付, 学術大会返納金等は通常会計から分離して基金会計として管理しています。)

理事長挨拶
報告事項
事業報告
事務局報告
会員動向
会費納入状況
WEB/バナー状況
学術大会報告
第19回 東京 (慈恵医大)
第20回 東京 (東海大)
第21回 徳島
第40回日本毒理性学会
学術年会合同セッション
委員会報告
学術・編集委員会
広報委員会
試験法委員会
国際化委員会
学会賞・奨励賞
その他
審議事項
事業計画
会計
2012年度決算
2012年度監査報告
2013年度修正予算
2014年度予算
人事
名譽会員
理事長
理事
評議員:新候補
監事・委員会・事務局
次々期 (第22回) 年会長
学術総会名称
その他
次期年会長挨拶
新理事長挨拶

Table with columns: 会 員, 2004.4, 2005.4, 2006.4, 2007.4.16, 2008.4.15, 2009.4.1, 2010.4.1, 2011.4.1, 2012.4.1, 2013.4.2, 2013.7.5, 2013.9.2. Rows include total membership, regular members, student members, etc.

Table with columns: 入会・退会者, 2007年度, 2008年度, 2009年度, 2010年度, 2011年度, 2012年度, 2013年度. Rows include income and expenses.

Table with columns: 役 員, 2007年度, 2008年度, 2009年度, 2010年度, 2011年度, 2012年度, 2013年度. Rows include board members and staff.

Table with columns: 会費納入状況, 2007.3.31, 2008.3.31, 2009.3.31, 2010.3.31, 2011.3.31, 2012.3.31, 2013.3.31, 2013.9.2. Rows include non-payment, payment, and total.

免疫毒性試験法ネット
SNTB 新日本科学
KJMA 大 熊
Wako
Table with columns: 年度, 開始年度, No., 試験種別, 試験, 発行者, 委託先, 担当, 窓口.

理事長挨拶
報告事項
事業報告
事務局報告
会員動向
会費納入状況
WEB/バナー状況
学術大会報告
第19回 東京 (慈恵医大)
第20回 東京 (東海大)
第21回 徳島
第40回日本毒理性学会
学術年会合同セッション
委員会報告
学術・編集委員会
広報委員会
試験法委員会
国際化委員会
学会賞・奨励賞
その他
審議事項
事業計画
会計
2012年度決算
2012年度監査報告
2013年度修正予算
2014年度予算
人事
名譽会員
理事長
理事
評議員:新候補
監事・委員会・事務局
次々期 (第22回) 年会長
学術総会名称
その他
次期年会長挨拶
新理事長挨拶

第19回日本免疫毒性学会学術大会報告
メインテマ: 「免疫毒性疾患の新しい様相」
平成24年9月15日 (土), 16日 (日)
東京慈恵会医科大学 大学一号楼三階講堂
日本産業衛生学会アレルギー・免疫毒性研究会 (第61回研究会) との共催
学術大会長: 柳澤 裕之 (東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座)
特別講演 (2題), 教育講演 (2題), シンポジウム (3題), 試験法ワークショップ (5題), 奨励賞受賞講演 (2題), 一般演説 (20題), 学生・若手セッション (6題), ランチオンセミナー (2題)
年会賞: 打田宏志氏 (Meiji Seika ファルマ株式会社) : 「Human Cell Line Activation Test (h-CLAT) を用いた医薬品のアレルギー性評価」
学生・若手優秀発表賞
・平井敏郎氏 (大阪大学大学院 薬学研究科 毒性学分野): 「安全なナノマテリアルの創製に向けた免疫毒性評価: 非晶質ナノシリカによる新たな免疫作用」
・岡村和幸氏 (独) 国立環境研究所 環境健康研究センター 分子毒性機構研究室, 筑波大学大学院 生命環境科学研究所 持続環境学専攻: 「ヒ素が誘導する senescenceへのp130の関与」
参加
事前: 会員61, 非会員8, 学生会員6.
当日: 会員17, 非会員16. 計108 (懇親会: 参加: 68)
その他
次期年会長挨拶
新理事長挨拶



理事長挨拶
報告事項
 事業報告
 事務局報告
 会員動向
 会費納入状況
 WEB/バー状況
学術大会報告
 第19回 東京 (慈恵医大)
 第20回 東京 (東海大)
 第21回 徳島
**第40回日本毒性学会
 学術年会合同セッション**
委員会報告
 学術・編集委員会
 広報委員会
 試験法委員会
 国際化委員会
 学会賞・奨励賞
 その他
審議事項
 事業計画
 会計
 2012年度決算
 2012年度監査報告
 2013年度修正予算
 2014年度予算
 人事
 名譽会員
 理事長
 理事
 評議員：新候補
 監事・委員会・事務局
 次々期 (第22回) 年会長
 学術総会名称
 その他
 次期年会長挨拶
 新理事長挨拶

第40回 日本毒性学会学術年会
 The 40th Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology

English

第40回 日本毒性学会学術年会
 The 40th Annual Meeting of the Japanese Society of Toxicology
 「医療・環境から学び、医療・環境へと還元する毒性学」

会期 2013.6.17月～19水
 会場 幕張メッセ 国際会議場 千葉
 年会長 上野 光一 (千葉大学大学院 薬学研究院)

シンポジウム11 6月19日(水) 9:00～12:00 第4会場

日本免疫毒性学会との合同シンポジウム「免疫毒性の最近の潮流」

座長：澤田 純一 (徳) 医薬品医療機器総合機構
 大槻 剛巳 (川崎医科大学)

511-1 ナノ粒子の安全使用に向けた検討：免疫毒性学の観点から
 ○吉岡 靖雄¹、堤 康夫^{1,2,3}
¹大阪大学大学院薬学研究科 毒性学分野、²医薬基盤研究所、³大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

511-2 環境汚染物質とアレルギー：毒性影響からかく乱影響へ
 ○高野 裕久
 京都大学 工学研究科 都市環境工学専攻 環境衛生学講座

511-3 環境化学物質の免疫細胞に対する分化・増殖かく乱作用の分子機構
 ○野原 恵子
 (独)国立環境研究所 環境健康研究センター 分子毒性機構研究室

511-4 アスベストの免疫毒性学的側面と病態への関与
 ○大槻 剛巳¹、前田 忠¹、武井 直子¹、松崎 秀紀¹、李 順慈¹、西村 泰光¹
¹川崎医科大学 衛生学、²岡山大学 大学院環境生命科学研究科 農生命科学専攻 生物機能化学講座
 環境機能化学研究室

511-5 WHO 化学物質の免疫毒性リスク評価ガイドランスについて
 ○手島 玲子
 国立医薬品食品衛生研究所 代謝生化学部

理事長挨拶
報告事項
 事業報告
 事務局報告
 会員動向
 会費納入状況
 WEB/バー状況
学術大会報告
 第19回 東京 (慈恵医大)
 第20回 東京 (東海大)
 第21回 徳島
 第40回日本毒性学会
 学術年会合同セッション
委員会報告
 学術・編集委員会
 広報委員会
 試験法委員会
 国際化委員会
 学会賞・奨励賞
 その他
審議事項
 事業計画
 会計
 2012年度決算
 2012年度監査報告
 2013年度修正予算
 2014年度予算
 人事
 名譽会員
 理事長
 理事
 評議員：新候補
 監事・委員会・事務局
 次々期 (第22回) 年会長
 学術総会名称
 その他
 次期年会長挨拶
 新理事長挨拶

ImmunoTox Letter 投稿規定及び執筆要領

1. ImmunoTox Letterは日本免疫毒性学会会員の情報交換の場を提供し、日本免疫毒性学会の発展に貢献することを目的とする。
2. ImmunoTox Letterは編集委員会からの依頼原稿、並びに、学会員からの投稿原稿を掲載する。なお、編集委員会からの依頼原稿については、日本免疫毒性学会員に限定しない。
3. 原稿の長さに関しては、和文6400字、英文2000語以内とする。ただし、依頼原稿に関してはこの限りではない。
4. 原稿で使用する簡単な化合物名や動植物名は、文部科学省学術用語審議会編「学術用語集」に準拠する。用語集に記載のないものについては、広く学術的に用いられている用語を用いる。
5. 引用文献は、出現順に1), 2)とし、本文の引用箇所の右肩に¹⁾, ²⁻³⁾のように記し、最後に一括して番号順に列記する。
6. 学会員からの投稿原稿に関しては、編集委員会において査読を行い、修正を依頼する場合がある。
7. 原稿の送付先 keikon@nies.go.jp (日本免疫毒性学会ImmunoTox Letter事務局)

2012年12月25日作成



理事長挨拶
報告事項
 事業報告
 事務局報告
 会員動向
 会費納入状況
 WEB/バー状況
学術大会報告
 第19回 東京 (慈恵医大)
 第20回 東京 (東海大)
 第21回 徳島
**第40回日本毒性学会
 学術年会合同セッション**
委員会報告
 学術・編集委員会
 広報委員会
試験法委員会
 国際化委員会
 学会賞・奨励賞
 その他
審議事項
 事業計画
 会計
 2012年度決算
 2012年度監査報告
 2013年度修正予算
 2014年度予算
 人事
 名譽会員
 理事長
 理事
 評議員：新候補
 監事・委員会・事務局
 次々期 (第22回) 年会長
 学術総会名称
 その他
 次期年会長挨拶
 新理事長挨拶

試験法委員会：

1. 学術大会における試験法ワークショップの企画
 第20回学術大会の第二日目14:15～16:15に開催

- 1) *In vitro*皮膚感作性試験代替法：KeratinoSens AssayのJaCVAM第三者評価委員会における検証状況
- 2) *In vitro*皮膚感作性試験代替法：Direct Peptide Reactivity Assay (DPRA)のJaCVAM第三者評価委員会における検証状況
- 3) 医薬品の免疫毒性評価の実例 -多発性硬化症治療薬フィンゴリモドの免疫毒性試験-

2. JaCVAM皮膚感作性試験代替法第三者評価委員会への対応
 国立医薬品食品衛生研究所よりJaCVAM第三者評価委員会として業務を委嘱され、皮膚感作性試験代替法の有用性とその限界について調査並びに評価を実施中。

- 1) 評価報告書作成に向けて会議開催：DPRA及びKeratinoSens Assayの評価報告書の初稿作成完了
- 2) ECVAM Recommendation レポート (ドラフト版) に対するコメント集約とJaCVAMへの提出：DPRA及びKeratinoSens Assay

理事長挨拶
報告事項
 事業報告
 事務局報告
 会員動向
 会費納入状況
 WEB/バー状況
学術大会報告
 第19回 東京 (慈恵医大)
 第20回 東京 (東海大)
 第21回 徳島
 第40回日本毒性学会
 学術年会合同セッション
委員会報告
 学術・編集委員会
 広報委員会
 試験法委員会
 国際化委員会
 学会賞・奨励賞
 その他
審議事項
 事業計画
 会計
 2012年度決算
 2012年度監査報告
 2013年度修正予算
 2014年度予算
 人事
 名譽会員
 理事長
 理事
 評議員：新候補
 監事・委員会・事務局
 次々期 (第22回) 年会長
 学術総会名称
 その他
 次期年会長挨拶
 新理事長挨拶

| SOT/ISSとの交流事業 | | | | | |
|--|---------------------|--------------------------|-----------|---|--|
| Year | Jpn → USA | | USA → Jpn | | |
| 2005 | | | 12回：東京 | J Immunotoxの紹介:Dr. Cohen | |
| 2006 | | | 13回：倉敷 | 特別講演: Dr.Regal | |
| 2007 | | | 14回：神戸 | シンポジウム:Dr. Dietert | |
| 2008 | 47回：Seattle | JSIT紹介:香山先生 | 15回：東京 | 招聘講演:Dr. Prueitt | |
| > この後、正式に契約を交わし、相互に宿泊費負担を開始。 > JSITからの派遣者に沿ったテーマで、ISSから共同オーガナイザーを選出、企画をSOT/ISSの企画案として審議、採択、実施を実行。 | | | | | |
| 2009 | 48回：Baltimore | シンポジウム:野原先生 | 16回：旭川 | シンポジウム:Dr. Zelikoff | |
| 2010 | 49回：Salt Lake City | シンポジウム:大槻 | 17回：つくば | シンポジウム:Dr. Burkeson | |
| 2011 | 50回：Washington D.C. | ワークショップ:吉田先生・ブース出展 | 18回：千葉 | シンポジウム:Dr. Ladics | |
| 2012 | 51回：San Francisco | シンポジウム:手島先生・発表者：進藤・中村両先生 | 19回：東京 | 特別講演:Dr. van Leveren | |
| 2013 | 52回：San Antonio | | 20回：東京 | 教育講演:Dr. Burchiel 記念シンポジウム Dr. Descotes Dr. Peyton | |
| 2014 | 53回：Phoenix | ISS-Meeting参加：中村先生 | 21回：徳島 | | |
| 2015 | 54回：San Diego | 派遣：平野先生 | 22回：京都 | | |

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/パナー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 新理事長挨拶 |

第3回学会賞：
 香山 不二雄 (自治医科大学医学部環境予防医学講座)
 推薦：吉田貴彦 (旭川医科大学)

研究タイトル：

サイトカイン、免疫毒性の境界領域

第3回奨励賞：

吉岡 靖雄 (大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野)

推薦：大槻剛巳 (川崎医科大学)

研究タイトル：

ナノマテリアルの安全性確保に資する微粒子の免疫毒性評価

授賞式・授賞講演を行います。

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/パナー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 新理事長挨拶 |

日本免疫毒性学会事業計画 (平成25年度後期・平成26年度前期)

- 平成25年9月12日
- はじめに**
 日本免疫毒性学会は、その前身である免疫毒性研究会としての活動期間を含め、20年目に入りました。その期、免疫学と毒性学に係わる異分野の方々との情報収集と意見交換の場として、小規模ではありますが、きわめて学際的な学会として機能して参りました。今後も、本学会は、その特色を保ちつつ、新規性と発展性のある研究動向も積極的にとり入れ、会員にとってメリットのある学会として存続することと求められています。そのために、学会の運営基盤の強化と国内における学術活動のより一層の充実を図る必要があると考えます。また、本学会の国際化のため、引き続き米国トキシコロジー学会免疫毒性分科会 (SOT-ISS) との交流も深めて行きたいと思えます。
 本学会の事業計画は、例年、秋期の総会にて承認を得た後に開始されることから、本事業計画は、概ね平成25年度の総会前日から平成26年度の総会前日までを期間 (平成25年度後期及び平成26年度前期) を対象としています。なお、事業報告と会計上の予算は、通常の年度 (4月から翌年3月) の期間で行っています。また、補充役員の任期に関しましては、平成25年度の総会の翌月の10月1日から任務開始とし、任期満了日は正規役員の満了日と同一日とすることをいたします。
- 2. 事業計画 (平成25年9月12日から平成26年度総会前日まで)**
 1) 平成25年度理事会、総会、評議員会の開催
 理事会：平成25年9月11日、東京都
 総会・評議員会：平成25年9月12日、東京都
- 2) 第20回日本免疫毒性学会学術大会の開催
 第20回学術大会を、平成25年9月12日、13日、東京都にて開催します。〔年会長：坂部員 (東海大学医学部)〕。
- 3) 第21回日本免疫毒性学会学術大会の開催準備
 第21回学術大会 [平成26年9月11、12日、徳島市、年会長：姫野誠一郎 (徳島文理大学)]の円滑な運営のための準備を行います。
- 4) 学会役員などの改選
 平成25年度後期 (平成25年10月1日付け) 以降の評議員及び理事の選出に関して総会承認を得ます。
- 5) 平成26年度理事会の開催
 平成26年9月10日、徳島市 (予定)
- 6) ImmunoTox Letterの発行
 既に18巻第1号 (通巻35号、平成25年6月号) は既刊となっておりますが、さらに下記2号の刊行を予定しています。なお、18巻より、ページ番号は、巻ごとの通し番号とする予定です。
 18巻第2号 (通巻36号、平成25年12月号)
 19巻第1号 (通巻37号、平成26年6月号)
- 7) 学会賞及び奨励賞の選考
 平成26年度学会賞及び奨励賞の推薦交付を行い、学会賞等選考委員会において授賞者の選考を行います。
- 8) 第22回日本免疫毒性学会学術大会の開催地の決定
 第22回日本免疫毒性学会学術大会 (平成27年秋) の年会長 [予定：高野裕久 (京都大学)]及び開催地 (予定：京都市) に関して総会の了承を得ます。

3. 事務局及び諸委員会の活動

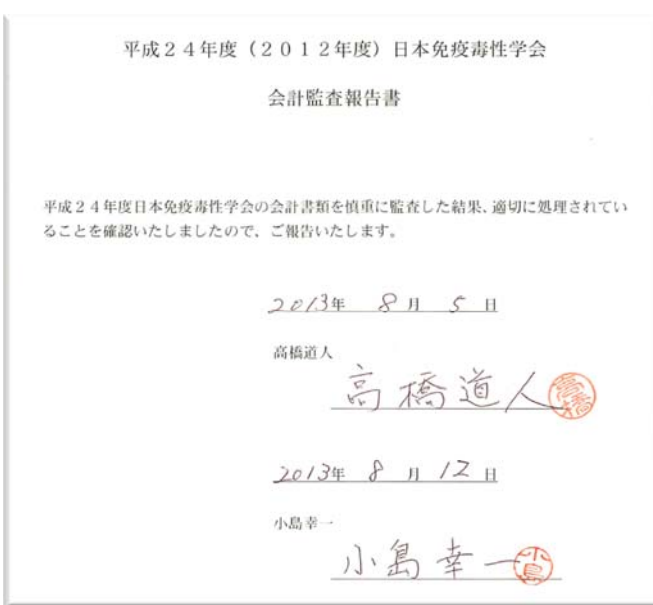
- 以下の活動を予定しています。
- 1) 事務局 (総務)
 ・会員の異動、会員 (名誉・一般・学生・賛助各会員+休会員) 数の推移と会費納入状況の把握、自動退会 (会費未納退会を整理) 等の事務
 ・名簿作成 (会計)
 ・一般会計及び基金会計に関する事務
 ・決算書及び予算書の作成
- 2) 運営委員会
 平成25年度前期に既に2回 (平成25年4月8日、同25年7月17日) 開催していますが、さらに数回の会合を開催し、会務の運営や学術大会開催準備等が円滑に進むよう、協力体制を密にするように努めます。
- 3) 学術・編集委員会
 上述のImmunoTox Letterの編集・発行を年2回行い、学会ホームページを掲載し、電子メールにて周知を図ることを予定しています。英語版の追加も継続して行います。
 また、学会賞及び奨励賞の選考のため、学会賞等選考委員会委員長を指名し、授賞候補者の選考を依頼します。
- 4) 広報委員会
 継続して、学会ホームページの定期的な更新を行い、英語サイトの充実にも努めます。パナー広告企業を新たに増やすため、積極的な勧誘を行います。
- 5) 試験法委員会
 本学会内での免疫毒性試験法に関する議論を深める目的で、学術大会ワークショップのテーマとして、試験法を中心に企画します。第20回学術大会では、JaCVAMで検討されています皮膚感作性試験代替法及び医薬品開発における免疫毒性評価についてディスカッションを行います。また、国立医薬品食品衛生研究所よりJaCVAM第三者評価委員会として業務を委嘱されていますことから、国際動向に対応する新規安全性試験法、特に、皮膚感作性試験法の有用性との境界について調査並びに評価を行います。
- 6) 国際化委員会
 米国トキシコロジー学会の免疫毒性セクション (SOT-ISS) との交流に関して、今後とも積極的に取り組んでいく予定です。
- 4. 予算**
 1) 平成25年度通常会計補正予算 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)
 別紙のとおり
- 2) 平成26年度通常会計予算 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)
 別紙のとおり
- 3) 基金会計
 別紙のとおり。学術大会返納金や個人的な寄付等を、通常会計から分離して別途会計として管理し、学会賞等の副賞に充当すると共に、通常会計では対応不可能な、しかし、予算措置を必要とする案件に備えます。

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/パナー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 新理事長挨拶 |

日本免疫毒性学会 平成24年度 (2012年度) 会計報告 (案)

| | | | | | |
|-----------------|-----------|-----------|--|----|-------|
| 通常会計 | | | | | (単位円) |
| 収入 | | | | | |
| 科目 | 修正予算 | 決算 | | 備考 | |
| 前年度(2011年度)繰越金 | 1,121,499 | 1,121,499 | | | |
| H24年度(2012年度)会費 | 1,736,000 | 1,644,000 | 内訳：一般(183×8千、過去年度17×8千、通しV3×8千、学生9×2千、過去年度1×2千) | | |
| ホームページ・パナー広告 | 240,000 | 240,000 | (4社×2期)×3万円 | | |
| 著作権料 | 0 | 314 | 科学技術振興機構より | | |
| 雑収入 | 300 | 204 | 銀行預金利子 | | |
| 収入合計 | 3,097,799 | 3,006,017 | | | |
| 支出 | | | | | |
| 科目 | 修正予算 | 決算 | | 備考 | |
| 第20回学術大会(東京)運営費 | 600,000 | 600,000 | | | |
| 第52回SOT年会派遣助成 | 0 | 0 | 2013年3月サンアントニオ、共同提案企画中断により派遣見送りのため | | |
| 会議費 | 200,000 | 195,895 | 会議費(委員交通費) | | |
| 通信費 | 100,000 | 70,783 | 切手・葉書、宅配便、電話 | | |
| News Letter 製作費 | 150,000 | 159,600 | 第17巻、1、2号(ページ単価4,000円)、第17巻は計38ページと多かつたため | | |
| 事務費 | 250,000 | 201,792 | 文具、振込料金、事務局旅費、7ヵ月代等 | | |
| ホームページ維持費 | 300,000 | 326,381 | | | |
| 基金会計へ | 0 | 69,632 | 第18回学術大会(千葉)戻し金 | | |
| 予備費 | 1,497,799 | 1,381,954 | 次年度(2013年度)への繰越 | | |
| 支出合計 | 3,097,799 | 3,006,017 | | | |
| 基金会計 | | | | | |
| 収入 | | | | | |
| 科目 | 修正予算 | 決算 | | 備考 | |
| 前年度(2011年度)繰越金 | 1,233,396 | 1,233,396 | | | |
| 寄付 | 50,000 | 50,000 | 寄付(会員:5万円×1) | | |
| 通常会計より | 69,632 | 69,632 | 第18回学術大会(千葉)戻し金 | | |
| 雑収入 | 200 | 210 | 銀行預金利子(定期預金) | | |
| 収入合計 | 1,353,228 | 1,353,238 | | | |
| 支出 | | | | | |
| 科目 | 修正予算 | 決算 | | 備考 | |
| 学会賞・奨励賞 副賞 | 60,000 | 60,000 | 学会賞(5万円、0名)、奨励賞(3万円、2名) 於第19回(東京) | | |
| 予備費 | 1,233,500 | 1,293,238 | 次年度(2013年度)への繰越 (内訳：普通預金:392,132円、定期預金:901,106円) | | |
| 支出合計 | 1,293,500 | 1,353,238 | | | |

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/パナー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 新理事長挨拶 |



| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/バナー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 新理事長挨拶 |

| | | | |
|--------------------------------------|-----------|-----------|--------------------------------|
| 日本免疫毒性学会 平成25年度(2013年度) 修正予算案 | | | |
| 通常会計 | | | |
| 収入 (単位円) | | | |
| 科 目 | 暫定予算 | 修正予算 | 備 考 |
| 前年度(2012年度)繰越金見込み | 1,497,799 | 1,381,954 | |
| H25年度(2013年度)会費 | 1,736,000 | 1,768,000 | 内訳(一般会員会費納入義務者数221名、2013年4月現在) |
| ホームページ・バナー広告 | 240,000 | 180,000 | 3社×2期×3万円:180,000円 |
| 雑収入 | 300 | 300 | 銀行預金利子2012年度実績 204円 |
| 収入合計 | 3,474,099 | 3,330,254 | |
| 支出 | | | |
| 科 目 | 暫定予算 | 修正予算 | 備 考 |
| 第21回学術大会(徳島)運営費 | 600,000 | 600,000 | 2014年、年会長:姫野誠一郎先生 |
| 20周年記念事業費 | 700,000 | 700,000 | 第20回学術大会 国内外からの招聘費等(旅費・宿泊費等) |
| 第53回SOT年会派遣助成 | 100,000 | 100,000 | 2014年3月 アリソナ州フェニックス(派遣者:高野先生) |
| 会議費 | 200,000 | 250,000 | 会議費(委員交通費、2012年度実績 195,895円) |
| 通信費 | 100,000 | 100,000 | 切手・葉書、宅配便、電話(2012年実績70,765円) |
| News Letter 製作費 | 150,000 | 150,000 | 2号分::20周年記念(2012年実績159,600円) |
| 事務費 | 250,000 | 250,000 | 文具、振込料金、事務局旅費、アルバイト代等 |
| ホームページ維持費 | 300,000 | 300,000 | 2012年実績 329,381円 |
| 予備費 | 1,074,099 | 880,254 | 次年度(2015年度)への繰越見込み |
| 支出合計 | 3,474,099 | 3,330,254 | |
| 基金会計 | | | |
| 収入 | | | |
| 科 目 | 暫定予算 | 修正予算 | 備 考 |
| 前年度(2012年度)繰越金見込み | 1,293,228 | 1,293,238 | |
| 雑収入 | 200 | 200 | 銀行預金利息 |
| 収入合計 | 1,293,428 | 1,293,438 | |
| 支出 | | | |
| 科 目 | 暫定予算 | 修正予算 | 備 考 |
| 学会賞・奨励賞 副賞 | 110,000 | 80,000 | 学会賞:5万円、奨励賞:3万円×1 |
| 予備費 | 1,183,428 | 1,213,438 | 次年度(2014年度)への繰越見込み |
| 支出合計 | 1,293,428 | 1,293,438 | |

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/バナー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 新理事長挨拶 |

| | | | |
|------------------------------------|-----------|--------------------------------|--|
| 日本免疫毒性学会 平成26年度(2014年度) 予算案 | | | |
| 通常会計 | | | |
| 収入 (単位円) | | | |
| 科 目 | 予算 | 備 考 | |
| 前年度(2013年度)繰越金見込み | 880,254 | | |
| H26年度(2014年度)会費 | 1,768,000 | 内訳(一般会員会費納入義務者数221名、2013年4月現在) | |
| ホームページ・バナー広告 | 180,000 | 3社×2期×3万円:180,000円 | |
| 雑収入 | 300 | 銀行預金利子2012年度実績 204円 | |
| 収入合計 | 2,828,554 | | |
| 支出 | | | |
| 科 目 | 予算 | 備 考 | |
| 第22回学術大会(京都)運営費 | 600,000 | 2015年、年会長:高野先生 | |
| 第54回SOT年会派遣助成 | 100,000 | 2015年3月カリフォルニア州サンディエゴ(派遣者:平野) | |
| 会議費 | 300,000 | 会議費(委員交通費、2012年度実績 195,895円) | |
| 通信費 | 100,000 | 切手・葉書、宅配便、電話(2012年実績70,765円) | |
| News Letter 製作費 | 150,000 | 2号分(2012年実績159,600円) | |
| 事務費 | 250,000 | 文具、振込料金、事務局旅費、アルバイト代等 | |
| ホームページ維持費 | 300,000 | 2012年実績 329,381円 | |
| 予備費 | 1,028,554 | 次年度(2015年度)への繰越見込み | |
| 支出合計 | 2,828,554 | | |
| 基金会計 | | | |
| 収入 | | | |
| 科 目 | 予算 | 備 考 | |
| 前年度(2013年度)繰越金見込み | 1,213,438 | | |
| 雑収入 | 200 | 銀行預金利息 | |
| 収入合計 | 1,213,638 | | |
| 支出 | | | |
| 科 目 | 予算 | 備 考 | |
| 学会賞・奨励賞 副賞 | 110,000 | 学会賞:5万円、奨励賞:3万円×2 | |
| 予備費 | 1,103,438 | 次年度(2015年度)への繰越見込み | |
| 支出合計 | 1,213,438 | | |

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/バナー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 新理事長挨拶 |

2013年度 名誉会員 推薦

吉田 武美 先生

2011年6月
2011年4月
1992年
1979年-1992年
1976年-1977年

1973年
1968年

公益社団法人薬剤師認定制度認証機構 執行理事
昭和大学 昭和大学名誉教授
昭和大学薬学部 教授
昭和大学薬学部 助教授
バンダービルト大学医学部
トキシコロジーセンター 研究員

東北大学 薬学研究科 衛生化学 薬学博士
徳島大学 薬学部 卒業

牧 栄二 先生

牧先生履歴待ち

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/バナー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 新理事長挨拶 |

新理事候補 (再任)

| | |
|---|--|
| 井上 智彰 上野 光一 大槻 剛巳 香山 不二雄 小坂 忠司 坂部 貢 澤田 純一 高木 邦明 高野 裕久 筒井 尚久 角田 正史 手島 玲子 中村 和市 野原 恵子 久田 茂 姫野 誠一郎 藤巻 秀和 柳澤 裕之 吉田 貴彦 | 中外製薬(株) 富士御殿場研究所 安全性研究部 千葉大学大学院薬学研究院 高齢者薬剤学研究室 川崎医科大学 衛生学 自治医科大学医学部環境予防医学講座 (財)残留農薬研究所 毒性部 免疫・急性毒性研究室 東海大学医学部基礎医学系 生体構造機能学領域 (独)薬品医療機器総合機構 麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科 衛生学研究室 京都大学大学院工学研究科 環境衛生学講座 田辺三菱製薬株式会社 開発本部 臨床薬理部 北里大学医学部 衛生学 国立医薬品食品衛生研究所 代謝生化学部 塩野義製薬(株) 東京支店 開発薬事部 国立環境研究所 環境健康研究センター あすか製薬(株) 開発研究センター 徳島文理大学 薬学部 (独)科学技術振興機構 研究振興支援業務室 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 旭川医科大学 健康科学講座 |
|---|--|

(新任)

| | |
|--------------------------|--|
| 斎藤 嘉朗 平野 靖史郎 森本 泰夫 | 国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部 (独)国立環境研究所 環境リスク研究センター 産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学 |
|--------------------------|--|

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/バー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 平野 靖史即挨拶 |

新理事長

吉田 貴彦 先生

旭川医科大学 健康科学講座

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/バー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 平野 靖史即挨拶 |

新評議員 (候補)

小川久美子先生 現職 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 病理部長
(推薦者：手島玲子，高橋道人)

| | | | |
|------------|---------------------------|------------------|-----------------------------|
| 評議員 | | | |
| 間 哲生 | 第一三共株式会社 安全性研究所 | 角田 正史 | 北里大学医学部 衛生学 |
| 井上 智彰 | 中外製薬(株)富士御殿場研究所 安全性研究部 | TIN TIN WIN SHWE | (独)国立環境研究所 環境研究センター |
| 上野 光一 | 千葉大学大学院薬学研究院 高齢者薬剤学研究室 | 手島 玲子 | 国立医薬品食品衛生研究所 代謝生化学部 |
| 大塚 文徳 | 帝京大学 薬学部 生命薬学講座 環境衛生学教室 | 永瀬 久光 | 岐阜薬科大学 衛生学研究室 |
| 大槻 剛巳 | 川崎医科大学 衛生学 | 中村 和希 | 塩野義製薬(株)東京支店 開発薬事部 |
| 大西 康之 | 三菱化学マテ(エス)(株) 創薬支援事業本部 | 中村 亮介 | 国立医薬品食品衛生研究所 代謝生化学部 |
| 金澤 由基子 | (独)医薬品医療機器総合機構 医療機器審査部 | 西村 泰光 | 川崎医科大学 衛生学 |
| 香山 不二雄 | 自治医科大学医学部 環境予防医学講座 | 野原 恵子 | (独)国立環境研究所 環境健康研究センター |
| 河井 良太 | 第一三共株式会社 安全性研究所 | 畑尾 正人 | (株)資生堂 リサーチセンター ライフサイエンス研究部 |
| 木村 努 | 第一三共株式会社 錠片研究センター 薬事監査室 | 服部 浩之 | 2013年9月末で評議員を辞退 |
| 日下 幸剛 | 福井大学医学部 環境保健学 | 久田 茂 | あすか製薬(株) 開発研究センター |
| 國西 芳治 | 2013年9月末で評議員を辞退 | 姫野 誠一郎 | 徳島文理大学 薬学部 衛生化学研究室 |
| 黒田 悦史 | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター | 平野 靖史郎 | (独)国立環境研究所 環境リスク研究センター |
| 河内 泰英 | 大鵬薬品工業(株) 徳島研究センター 安全性研究所 | 藤巻 秀和 | (独)科学技術振興機構 研究振興支援業務室 |
| 小坂 忠司 | (財)残留農薬研究所 毒性部 免疫・急性毒性研究室 | 堀井 郁夫 | 2013年9月末で評議員任期終了 |
| 小島 幸一 | (財)食品薬品安全センター | 牧 栄二 | 2013年9月末で評議員任期終了 |
| 齋藤 嘉朗 | 国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部 | 宮越 越一 | 東邦大学 食環境科学部 健康栄養学科 |
| 坂部 貢 | 東海大学医学部基礎医学系 生体構造機能学領域 | 森本 兼暉 | 2013年9月末で評議員任期終了 |
| 佐藤 一博 | 福井大学医学部 環境保健学 | 森本 泰夫 | 産業医科大学 産業生息科学研究所 呼吸病学 |
| 澤田 純一 | (独)医薬品医療機器総合機構 再生医療製品等審査部 | 柳澤 裕之 | 東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 |
| 新藤 智子 | (財)食品薬品安全センター | 山浦 克典 | 千葉大学大学院薬学研究院高齢者薬剤学研究室 |
| 高木 邦明 | 静岡県立大学薬学部 衛生分子毒性学分野 | 吉岡 靖雄 | 大阪大学大学院薬学研究科毒性学分野 |
| 高野 裕久 | 京都大学大学院工学研究科 環境衛生学講座 | 吉田 貴彦 | 旭川医科大学 健康科学講座 |
| 高橋 義博 | (株)新日本科学 安全性研究所 バイオ研究部 | 吉田 武美 | 2013年9月末で評議員任期終了 |
| 竹下 達也 | 和歌山県立医科大学医学部 公衆衛生学教室 | 吉野 伸 | 神戸薬科大学 薬理学研究室 |
| 武田 健 | 2013年9月末で評議員任期終了 | 李 壽 | 日本医科大学 衛生学公衆衛生学 |
| 筒井 尚久 | 田辺三菱製薬株式会社 開発本部 | | |

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/バー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 平野 靖史即挨拶 |

監事 小島 幸一(財)食品薬品安全センター (再任)
高橋 道人病理ピアレビューセンター (再任)

理事会 オブザーバー
監事 2名
大沢 基保 (財)食品薬品安全センター・秦野研究所
牧 栄二 (前)(財)食品農薬医薬品安全性評価センター

委員会：新理事体制にて更新予定 (下線：現在の委員長)

運営委員
澤田純一 上野光一 大沢基保 大槻剛巳 高橋道人 筒井尚久
手島玲子 中村和希 野原恵子 藤巻秀和 牧 栄二 吉田貴彦

広報委員会 大槻剛巳, 香山不二雄, 中村亮介, 藤巻秀和, 牧 栄二
学術編集委員会 藤巻秀和, 新藤智子, 筒井尚久, 角田正史, 手島玲子
西村泰光, 野原恵子, 姫野誠一郎

試験法委員 筒井尚久, 手島玲子, 中村和希, 久田 茂, 牧 栄二
国際化委員 中村和希, 荒川泰昭, 香山不二雄, 野原恵子

事務局
総務 大槻剛巳, 牧 栄二
会計 吉田貴彦 → (新任候補) 齋藤 嘉朗

| |
|----------------|
| 理事長挨拶 |
| 報告事項 |
| 事業報告 |
| 事務局報告 |
| 会員動向 |
| 会費納入状況 |
| WEB/バー状況 |
| 学術大会報告 |
| 第19回 東京 (慈恵医大) |
| 第20回 東京 (東海大) |
| 第21回 徳島 |
| 第40回日本毒性学会 |
| 学術年合同セッション |
| 委員会報告 |
| 学術・編集委員会 |
| 広報委員会 |
| 試験法委員会 |
| 国際化委員会 |
| 学会賞・奨励賞 |
| その他 |
| 審議事項 |
| 事業計画 |
| 会計 |
| 2012年度決算 |
| 2012年度監査報告 |
| 2013年度修正予算 |
| 2014年度予算 |
| 人事 |
| 名譽会員 |
| 理事長 |
| 理事 |
| 評議員：新候補 |
| 監事・委員会・事務局 |
| 次々期 (第22回) 年会長 |
| 学術総会名称 |
| その他 |
| 次期年会長挨拶 |
| 平野 靖史即挨拶 |

次期 (第21回) 年会長
姫野誠一郎先生
徳島文理大学 薬学部 衛生化学研究室



次々期 (第22回) 年会長
高野裕久先生
京都大学大学院工学研究科 環境衛生学講座



第21回 日本免疫毒性学会学術年会

The 21th Annual Meeting of the Japanese Society of
Immunotoxicology

共同開催：第64回 日本産業衛生学会アレルギー・免疫毒性研究会



会期： 2014年 9月11日(木)、12日(金)

会場： 徳島文理大学国際会議場

年会長： 姫野誠一郎（徳島文理大学薬学部・教授）

